

令和5年度 担い手確保・育成推進協議会の開催

- 令和5年12月6日（水） 北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会（座長：北陸地方整備局長）を開催。
- 新潟・富山・石川3会場による対面形式（web併用）での開催とし、産学官の構成員46機関のうち44機関が出席。
- 各労働局より管内建設業に係る求人・離職の動向説明をはじめ、協議会各県部会による活動報告や代表事例を共有。
- また、出席いただいた大学・高専・高校の教授や校長等より、学生・生徒の他産業・他地域への進路選択状況や、重点的に取り組むべき実施内容や時期について説明いただき、協議会として取り組み方針を継続することを確認。

協議会構成員（教育機関）からの主な意見等

- ・ 建設系学校を卒業後、ほとんどの学生・生徒は建設業へ就職しているが、一方で、家族や部活の先輩などの影響、他職種への関心の要因から、少数ではあるが他産業を選択する学生・生徒も一定数いる。
- ・ 重点的に取り組みを実施すべき内容として、建設関係で働くことの「やりがい」や「将来性」をしっかりと伝えること、学生・生徒に年齢が近い若手技術者との交流を深めること、女性活躍にかかるジェンダーバイアスの解消を重視すべき等。
- ・ 当協議会名の「北陸建設界」にあるよう「北陸で仕事をする魅力」についても発信することが重要。
- ・ 会社組織において個人がどんなふうに関わり、どんな責任、役割を担っているかを上手に見せると良い。
- ・ 担い手確保への取り組みは短期間で結果を出すことが難しく、継続した取り組みが必要である。



遠藤北陸地方整備局長（座長）挨拶

■ 取り組み方針<継続>

[方針1]インフラ分野のDX、働き方改革推進による建設業界の新たな魅力向上の発信

[方針2]建設業界を身近に感じてもらう取り組みの継続

[方針3]ターゲットに応じた効果的かつ持続可能な取り組みの実施

■ 協議会構成員

【企業】

日本建設連合会、各県建設業協会、建設コンサルタント協会、各県測量設計協会、北陸地質調査業協会、日本道路建設業協会、日本造園建設業協会、北陸建設アカデミー<※今回より参画>

【教育】

新潟大学、長岡技科大、富山大学、富山県立大学、金沢大学、金沢工大、石川県立大学、長岡高専、石川高専、新潟工業高校、新発田南高校、富山工業高校、小松工業高校、金沢市立工業高校、各県教育委員会

【行政】

新潟労働局、富山労働局、石川労働局、北陸地方整備局、新潟県、富山県、石川県、新潟市

■ 協議会開催状況(令和5年12月)

※各会場をオンラインでつなぎ開催



新潟会場（北陸地整）



富山会場（富山河国）



石川会場（金沢河国）